

## 第10回南砺市交流観光まちづくりプラン推進会議 次第

日時 令和3年3月16日（火）午後2時

会場 南砺市役所福野庁舎201会議室

### 1 開 会

### 2 挨 拶

### 3 報告事項

（1）南砺市観光統計について . . . P1

（2）令和2年度事業について . . . P3

### 4 協議事項

（1）南砺市ウィズ・コロナ観光振興基本方針の策定について . . . P7

（2）交流観光まちづくりプラン基本的戦略等の見直しについて . . . P11

### 5 その他

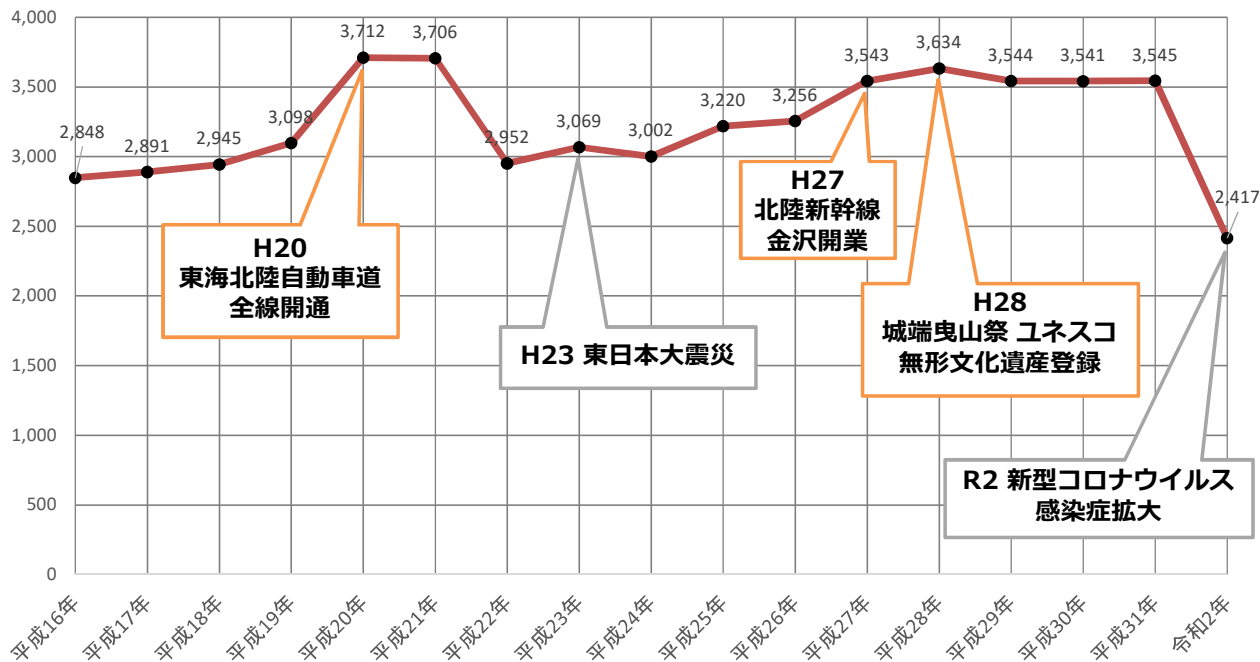
### 6 閉 会



# 南砺市観光統計

## (1)観光客入込数

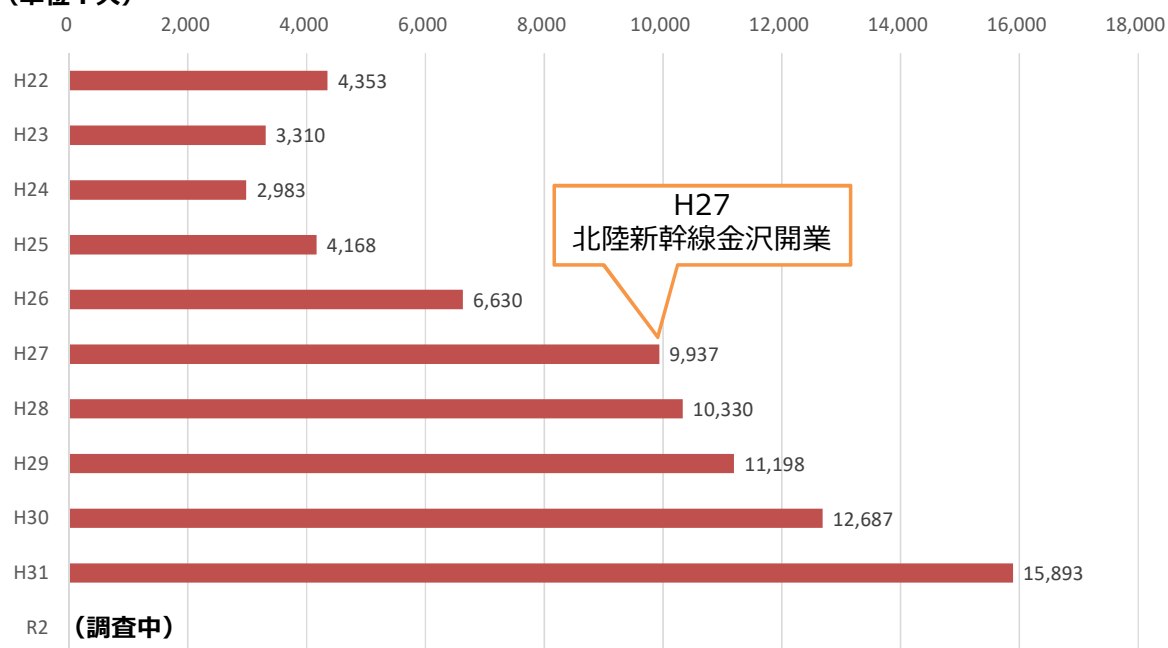
(単位：千人)



R2は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大幅減 2,417千人 (速報値)

## (2) 外国人宿泊者数 (～H31、延べ数)

(単位：人)



コロナ禍以前は増加傾向にあった



## 令和2年度事業について

(R3.2.28時点)

## ① 南砺市総合計画

「総合計画 南砺まちづくりビジョン3-3 地域の活力を支える産業の発展(地域の活力を支える産業育成プロジェクト)」に記載する事業。

## (1) 観光客受入等に対する市の補助事業

| 補助制度               | 内容  | 件数(件) | 金額(千円) |
|--------------------|---|-------|--------|
| 観光客受入環境整備事業        | 観光施設の環境整備に係る経費を助成し、観光客が快適に南砺を観光する環境整備を推進。<br>無線 LAN、クレジットカード決済環境整備、トイレ・風呂など水周の整備に対して助成。 | 4     | 1,456  |
| コンベンション支援事業        | 市内で開催される部活やサークルなどの合宿、スポーツ大会等の主催者に対して、開催費用の一部を助成。  | 4     | 699    |
| なんとで同窓会応援プロジェクト補助金 | 同窓会の開催を誘致及び支援することで、市内宿泊施設の利用促進や交流人口の増加を図るため、同窓会主催者に対し開催費用の一部を助成。                        | 4     | 48     |

## (2) なんと！幸せのおすそわけキャンペーン

コアなファン獲得のための着地型(金沢向け)及び首都圏プロモーション、インバウンド誘客を目的とした取り組みや南砺ブランド商品開発支援事業と連携した誘客活動。

## ○「リビングかなざわ」を活用した観光プロモーション(R2.10.3,10,17)

内容 金沢市を中心に石川県内で150,000部発行の「リビングかなざわ」に南砺の情報を掲載することで、南砺と金沢のアクセスの利便性と、距離の近さを伝え金沢市内でイメージの定着を図った。

## ○金沢市観光コンシェルジュ招請(R2.8.7,30)

内容 金沢ホテル懇話会加盟ホテル関係者を南砺へ招請し、「殿さま街道フリーパス+(プラス)」を使って金沢から便利に訪問できる城端・井波・五箇山地域の魅力を紹介した。

金沢ホテル懇話会加盟ホテルの客層に向けた旅行商品を造成するため、

利賀 SCOT に招き、課題の抽出や実現可能性について意見を集めた

#### ○神楽坂でのプロモーション

- ・デジタルツールを使った情報発信

内容 昨年度からプロモーション展開している神楽坂と南砺市をつなぐ猫「にゃんと氏」を活用した専用ウェブサイトを開設。「にゃんと氏」が南砺市を紹介する4コマ漫画や動画を SNS で拡散した

- ・縮小開催「化け猫フェスティバル」での情報発信 (R2.11.3)

内容 毎年 10 月に開催される人気イベント「化け猫フェスティバル」が縮小開催される中、「にゃんと氏」名刺の配布やイラストの展示を行った

#### ○「南砺×武蔵野 結ぶ祭」及び関連イベント (R2.11.6~11.15)

場所 吉祥寺周辺

内容 南砺市と友好都市である武蔵野市の吉祥寺にて、南砺の食材を使った料理や商品を提供。南砺市から現地へは出向かず、「デジタル観光バス」として南砺の魅力を詰めたライブ配信を行った。

## ② インバウンド施策

### (1) 観光客受入環境整備事業

(前述記載)

### (2) プロモーション・商談

- ・日本最大級の旅行博であるツーリズム EXPO ジャパンに北陸・飛騨・信州 3 つ星街道観光協議会として出展予定であったが、直前で中止が決まった。オンライン上で、バーチャル展示場の設置やリモート商談会が行われた
- ・[北陸・飛騨・信州 3 つ星街道観光協会事業]東南アジア向けリモートセミナー及びセールスコール事業 (タイ、インドネシア)

### (3) 招聘事業

コロナ禍により実施なし

### (4) ウェブサイトの充実

- ・[北陸・飛騨・信州 3 つ星街道観光協会事業]イギリス、アメリカ、オーストラリアの FIT 層をターゲットとした動画の制作。動画に誘導する記事の制作とインターネット広告の配信。

### (5) 五箇山合掌の里リノベーション

- ・冬期の宿泊を可能とした通年営業により集客を図るため、令和元年度の荒井家に続き、残り 2 棟の合掌コテージ断熱改修設計業務委託を行っている。工事は令和 3 年度に行う。

- ・南砺市合掌造り家屋保存活用検討委員会で協議検討し、令和2年9月に建築基準法の適用を除外するための条例と指針を策定した。

(6) 外国人旅行者のおもてなしUP

- ・市内の観光案内看板の多言語化
- ・観光庁「まちあるき」補助金を活用した八日町通り、瑞泉寺のWi-Fi整備、AIチャットボットの設置、瑞泉寺公衆トイレの洋式化

### ③ 観光推進に向けた施策展開

(1) 南砺金沢線バスを活用した誘客促進への取組

金沢から南砺市への周遊を促進するために、加越能バス㈱と連携しながら、令和2年度4月から南砺金沢線バスの一部を城端駅経由にルート変更した。

これにより、五箇山（合掌造り集落がユネスコ世界文化遺産に登録：1995年）、城端（城端神明宮祭の曳山行事がユネスコ無形文化遺産に登録：2016年）、井波（宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波として日本遺産登録：2018年）への移動が、南砺金沢線バス及び世界遺産バスの活用で、より円滑に行われることとなった。

(2) 広域連携による取組

北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会、富山県西部地区観光協議会、富山県となみ野観光連盟、飛越能経済観光都市懇談会、東日本連携・創生フォーラム等の広域連携により誘客推進に取り組んだ。

#### ④ 新型コロナウイルス感染症観光関連施策

##### (1) 温泉事業者・宿泊事業経営支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が激減し、厳しい経営状態を支援するため、温泉事業者へ1年間（H31.3～R2.2）の入湯税相当額を、宿泊事業者へ20万円を支給した。

##### (2) 南砺金沢線・世界遺産バス活用誘客事業

金沢からの誘客を促進するため、南砺金沢線バス及び世界遺産バスの全区間で3日間利用可能な「殿さま街道フリーパス+」（通常大人 3,800 円）、南砺金沢線バスの全区間で2日間利用可能な「殿さま街道フリーパス」（通常大人 1,600 円）をそれぞれ半額で販売した。

##### (3) 「なんと安全・安心と笑顔の宿」キャンペーン推進事業

「なんと安全・安心と笑顔の宿」宣言をした宿に対し、感染予防対策勉強会のほか、web 広告等の情報発信とお客様アンケート集計を行い、宿の集客力を高めサービス向上を図った。

##### (4) 南砺市民向け宿泊促進事業（第1弾）

「なんと安全・安心と笑顔の宿」キャンペーンを推進し、参加する宿泊施設で利用できる「プレミアム宿泊券」を市民及び応援市民に販売した。

- ・販売対象者 南砺市民
- ・販売価格 プレミアム宿泊券5千円券を2千円で販売（6割引）
- ・利用期間 8月1日～9月30日（2ヶ月間）

##### (5) 南砺市民向け宿泊促進事業（第2弾）

第1弾に引き続き、「なんと安全・安心と笑顔の宿」キャンペーンの宿泊施設で利用できる第2弾「市民向けプレミアム宿泊プラン」を販売。市内の旅行業者と宿泊事業者が連携し、宿の特徴を生かした宿泊プランを企画することで、利用者にワンランクアップのサービスを提供できるよう取り組んだ。

- ・販売対象者 南砺市民及び応援市民
- ・販売価格 プレミアム宿泊プランを6割引で販売
- ・利用期間 令和2年12月1日～令和3年3月30日（4ヶ月間）



## 南砺市ウィズ・コロナ観光推進基本方針の策定について

## 1. 背景

南砺市では、交流観光まちづくりプランに基づき、インバウンド施策をはじめとした各種観光推進施策を展開してきたが、令和元年12月に新型コロナウイルス感染症が確認され、世界的に感染が広まった。

令和2年1月、日本において初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、日本中にも感染が拡大し、4月には全国で緊急事態宣言が発出された。飲食店での時短要請や国民への外出自粛が要請されるなど、経済活動や日常生活に支障をきたし、観光業へも大きな影響を及ぼすこととなった。

## 2. 基本方針の策定趣旨

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、観光に対する意識も変化してきた。感染予防の観点から、多人数が集まる団体旅行から個人旅行へ、不特定多数が集まる都市圏への旅行から密を避けた自然豊かな地方旅行へ、海外旅行から近距離の短期的旅行へ、など安心安全を第一に考えた旅行の需要が高まることとなった。

このように変化する観光情勢に対応するため、コロナ禍における観光振興の方向性を示すとともに、アフターコロナの観光振興を見据えた観光推進施策について、交流観光まちづくりプランを補完する形で南砺市ウィズ・コロナ観光推進基本方針を策定する。

## 3. 基本方針の位置付け

この基本方針を基に、新型コロナウイルス感染症の収束期に向けた観光施策を展開するため、プランの基本的戦略及び施策（基本事業）を修正する。

また、今後の進め方としては、新型コロナウイルス感染症及び国内外の観光の状況等を随時確認し、方向性を見直しや具体的な施策（基本事業）の追加等について柔軟に検討していくこととする。



# 南砺市ウィズ・コロナ観光振興基本方針（案）

資料3-2

経緯

- ・令和2年1月、日本において初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、日本中にも感染が拡大し、4月に全国で緊急事態宣言が発出された。飲食店での時短要請や国民への外出自粛の要請等により、観光業が大きな影響を受けることとなった。
- ・新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、様々な観点から観光に対する意識も変化してきた。このような観光情勢の変化に対応するため、コロナ禍における観光振興について、方向性を示すことが求められている。

課題

・コロナ禍における感染予防を意識した観光客受け入れ体制の充実が必要  
・3密回避や新たな観光スタイルへの需要への対応が必要

・コロナにより、外国人観光客が激減しているが、アフターコロナのインバウンド回復期を見越した施策が必要

・全国及び一部地域での緊急事態宣言の発出・解除等に伴い、感染症予防の観点から近隣地へ観光するマイクロツーリズムが求められている

基本  
コンセプト

- ・コロナ禍における新たな観光施策の展開
- ・アフターコロナに活かせる取組
- ・コロナ収束状況に応じ、柔軟に施策（基本事業）を追加修正

魅力づくり

- 安心・安全と笑顔の宿の提供
  - ・観光客が安心して南砺に訪問できる宿泊プランの磨きこみ及び高付加価値化
- 新たな観光による地域の活性化
  - ・3密を回避し自然を満喫するサイクルツーリズムの推進
  - ・テレワーク等新たな働き方の普及に対応したワーケーションの開発

情報発信

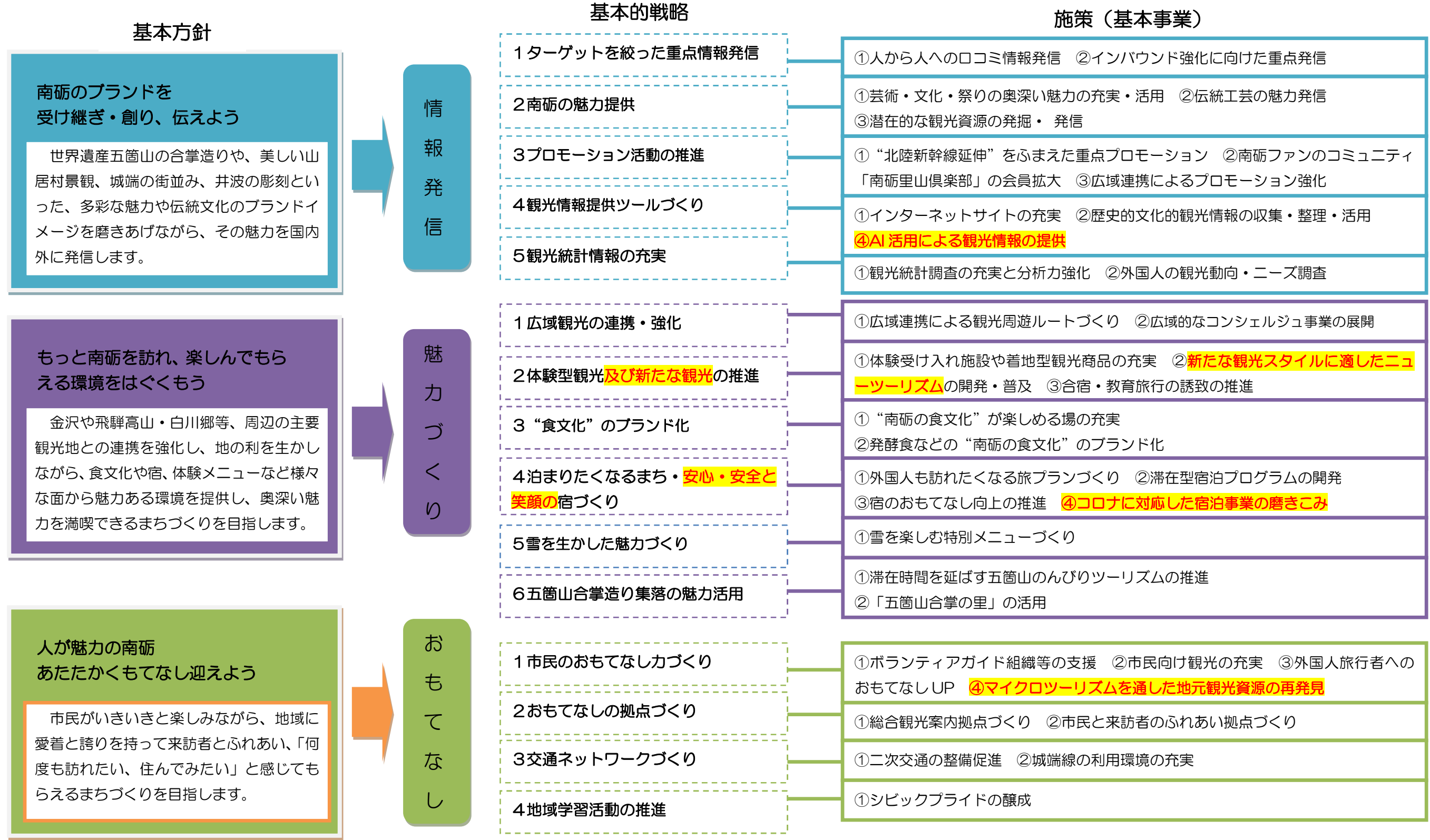
- 南砺の情報提供
  - ・外国人や日本人への南砺の魅力の情報提供としてAIチャットボットの活用
  - ・ウェブ（HPやSNS等）を活用した情報発信

おもてなし

- おもてなしのカづくり
  - ・マイクロツーリズムに対応した安全で安心な旅行を提供できる宿泊キャンペーンの実施
  - ・地元観光を見直し、アフターコロナのおもてなしにもつながる観光資源の再発見



# ●交流観光まちづくりプラン基本的戦略及び施策修正（案）



※太赤字 追加修正箇所

## 1.インバウンド強化に向けた重点発信

伝統文化や歴史のみならず、生活文化や風土にも焦点をあて、それぞれの傾向・ニーズに合致した情報を発信し、海外からの誘客を促進します。  
また「北陸・飛騨・信州3つ星街道」等の広域連携による重点的なPRを行います。

## 2.芸術・文化・祭りの奥深い魅力の充実・活用

世界遺産「五箇山合掌造り集落」やユネスコ無形文化遺産「城端神明宮祭の曳山行事」、プロジェクト未来遺産「福野夜高祭」、また、SCOT演劇祭やスキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドを始めとする国際文化芸術事業など、南砺の多様な文化財や伝統文化、祭り等の奥深い魅力を体感できる機会等を提供します。

## 3.“北陸新幹線延伸”をふまえた重点プロモーション

特定の世代やジャンルにターゲットを絞った、効果的なメディアの活用による南砺市の魅力発信を行っています。これらの活動を継続・発展するとともに、北陸新幹線延伸をふまえた二次交通や周遊ルート等の創出と合わせた情報発信を推進します。

## 4.AI活用による観光情報の提供（新規）

観光客が、スマホ等を使用し、チャット形式（音声ではなく文字入力）により南砺市の観光について質問すると、自動で返信してくれるサイトにAIを活用します。  
コンシェルジュ型人工知能「チャットボット」で、このシステムを使うことにより、南砺市の観光情報を提供することが可能となり、市観光協会の「旅々なんと」と連携させることで、旅前及び旅中での外国人観光客等に情報提供します。

## 5.観光統計調査の充実と分析力強化

本プラン前期に実施したスタートアップ事業の一つとして、「観光入込客統計に関する共通基準」に基づいた観光統計調査を実施・継続しています。今後も継続して調査を実施し、地域の観光を取り巻く状況を的確に把握するため、観光消費額を推計するなど統計の精度を上げ、今後の施策立案の基礎とすると共に、結果を公表し、観光関係事業者の誘客活動に役立てます。

## 6.広域連携による観光周遊ルートづくり

北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会（金沢・南砺・白川・高山・松本）や富山県西部地区観光協議会（高岡・射水・氷見・砺波・小矢部・南砺）等広域連携の枠組みにより、様々なテーマでこのルートを巡ることが出来るよう、観光資源の発掘や関連団体とのイベントの共催、共同宣伝、マップの作成、二次交通網等の整備促進などを進め、広域周遊観光を楽しむことのできる環境を整えます。また、白川郷合掌造り集落との連携により世界遺産を活用した誘客推進を図ります。

## 7.新たな観光スタイルに適したニューツーリズムの開発・普及（拡充）

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の観光とは異なった新たな観光スタイルが求められており、これに対応したニューツーリズムを推進することで新規観光客の獲得を図ります。

密集を回避し自然を楽しむサイクルツーリズムや、働き方改革及び感染拡大防止等につながるワーケーションの推進に取り組みます。

## 8.コロナに対応した宿泊事業の磨きこみ（新規）

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受けて、宿泊事業には、コロナ拡大を予防するための環境整備が必要となりました。観光客に、安心して安全な旅を楽しんでもらえる体制づくりを図ります。

また、感染予防の観点から、3密（密閉、密集、密接）回避が求められており、宿泊施設の客室稼働率等にも影響を及ぼすこととなったため、客単価を上げるための高付加価値化を推進します。

## 9.「五箇山合掌の里」の活用

合掌造り集落の持つ“素”の魅力を大切にしながら、市内への賑わいだけでなく県西部の魅力発信拠点施設として、「五箇山合掌の里」の活用を図ります。

## 10.外国人旅行者のおもてなしUP

外国人旅行者のためのおもてなし環境を、ハード・ソフトの両面から整備をすすめます。英語を中心に外国語対応出来る人材を育成し、ホスピタリティの強化を図ります。

## 11.マイクロツーリズムを通じた地元観光資源の再発見（新規）

新型コロナウイルス感染症の影響で、人の移動の自粛要請等が実施され、感染状況によっては、首都圏や遠方への旅行が控えられたことで、近隣観光地を訪問する傾向が高まることとなりました。このような地元や近隣地を訪れる「マイクロツーリズム」の観光需要を掘り起こし、アフターコロナにもつなげます。

地元で暮らす方々が市内を観光周遊し、地域の素晴らしい観光資源を再発見することによって、アフターコロナ期における「おもてなし」の向上につなげます。

## 12.総合観光案内拠点づくり

城端線の終着駅であり、北陸・飛騨・信州3つ星街道の玄関口でもある城端駅に、総合観光案内拠点（情報案内拠点、バス・レンタカー等交通拠点）を設置するとともに、各観光施設間において観光情報（交通手段・施設情報・体験プログラム・地図等）の共有を図ります。

## 13.二次交通の整備促進

城端線各駅からの交通機能の充実、五箇山や南砺市内を巡るバスの活用や、レンタカーを使った観光の提案なども検討しながら、市内を周遊できる二次交通の充実を図っていきます。